

昭和十年四月八日		石堂印記	
神戸港類南政関係貨物疎解報告			
南方政務部	副長	部員	A
			上野
			D
			D
			保官
軍務局第三課			赤坂大尉

海軍

(章見社切)

昭和廿年四月六日

南方政務部 石堂印 託

南方政務部

上野部員殿

東沢大尉殿

神戸港頭南政関係滞貨処理状況報告

(別表 A B C D E F G H 添)

(A) 概説

三月三日ヲ因途トセル搬出ハ三月十四日大阪・三月十七日神戸
両市ノ空輸搬出ヨリ著敷其ノ計畫ヲ阻害セシメラル
タルヲ神戸運輸部ノ其他各方面ノ援助ヨリ三月末
一部由月ニテ以テ一衣全部ノ滞解ハ徹ヲ完了セル次第

海軍

(原典社印)

ナリ。然レ共神戸港頭トモテ考ヘレバ陸軍関係物資
 概ニ相当莫大ナルモ未ダ搬出トシテ港頭ニ積置レ
 アリ。海軍他部物資ハ概シテ搬出シテ之ヲ
 搬出スルヲ改メテ是等ニ大ナル積置ニ急務ナラ痛感
 セシメラルカキナリ。

青木港頭ニヨリ搬出スルハ以後記ノ如ク南政自他
 トシテA.B.C表通りニ四カ五カ米及軍需品保轉ノ東洋
 船積込^(要)ニ。五カ米計^(要)ニ。五カ米ナリ。

四月ニ至リ配車ニ五車分ハモトモ大ニ定メ貨車
 ニ積置ラルモ之ノ遅延ナリ。

本搬出ニ際シテ大阪・神戸兩市ノ交通不便(電車停止)電
 報不通ヨリ些少ノトナリテ徒歩連絡ヲ要シ且ツ
 各担当者ハ折角訪問セルニ臨解・近親者自他ノ

(G)	現場ニ於テ轉用ニ付テ
(F)	輸送券ニ付テ
(E)	兵力使用状況
(D)	東洋船積込外南政ニ準シ搬出努力セルモノ
(C)	残留海軍関係貨物ニ付テ
(B)	搬出実績
(A)	概説

以下項ヲ分テ搬出状況ヲ記載スルトス。

トコロ大ナルモノナリテ感謝スルカキナリ。

概説

留兵ヨリ留守ノ事多ク故ニ此定メ新並通行ニ對シテ
 スルモノナリモアリタムモ神ノ運轉部ノ故身ノ努力ニ負フ
 トコロ大ナルモノナリテ感謝スルカキナリ。

以下項ヲ分テ搬出状況ヲ記載スルトス。

(京兵社稿)

海軍

(H) 各社別搬出狀況概説

(I) 疎解貨物、爾後急速靴力化ニ當心件

目録

(K) 五月十七日及三月十九日神戶港
空襲被害實概況 (參考)

附表

A. B. C. D. E. F. G. H. 表

(四) 搬出定額

掘出定稿「賃車模」均合、以爲學不足ヨリ、曾模不

可能，為人見積，言記，兄為石，確卜，補己，蘇平，免，男，大。

性前月、
一覽教ヲ基礎トシ別表作也

り
別表
附

即4畝半一畝又1大約
九四六五方米

機
二二二
一
五
七
四

自勳車 馬車 意毛ノ大 三七

合部二四九。主方未

之ヲ空龍ノ前後ニ分歟ナレバ

方法

貨車

機
船

三六八
前
後

三十一

三七五

利

七九九

海軍

トランスポート	・三〇七	六三	三七・五方米
計	(一、五〇、四三)	(一、四四、五八)	二四九。
トナリ			
(C) 残留海軍関係貨物ニ付テ			
南政関係貨物ノ疎解一衣、搬出殆ト完了セルヲ以テ、念ノ			
為メ、各埠頭上座ヲ核分セルニ、南政関係、日本油脂、高			
田製菓、残留セルノミ、デ、其他ハ、山崎洋行外五隻、積込、予定			
分ヲ、残置、スアリ			
照会(表、別添)ニ記載セ、通リ、ホルネオ、セレス、氏、海軍向			
木造船関係、亦、ホ、方、別添、鉄関係、新竹紡績関係、貴重			

相当残置、スアリ、外、麻生鉱業、日産、小野田セメント、セレス			
南政鉄道ノ、疎解分、残留セルノ、部、ア、共、之等、輸送、タカ			
附、鉄道、ニ、配車、手続、了、了、此、為、四月、十五日、頃迄、搬出			
完了、ス、ト、思、ハ、レ、モ、前記、セ、レス、氏、改、修、外、搬出、手			
續、何、等、ナ、シ、居、ラ、ル、模、様、ニ、テ、且、輸送、タカ、ノ、交、附、メ、キ、タ、メ			
配車、ナ、ス、疎解、先、行、ハ、ル、為、運輸、部、ニ、於、テ、モ、困、リ、底、上、但			
シ、ホ、造、船、関係、中、一、部、ハ、疎解、手、續、中、ノ、モ、一、部、南、キ			
居、レ、ル、中、ニ、ハ、港、頭、ニ、貴、重、ノ、貨、物、ヲ、滅、失、ス、ト、ウ、テ、現			
戦、向、下、戦、力、化、ヲ、急、ガ、要、ル、ニ、付、テ、老、婆、心、下、ラ、別、表、D、ヲ			
作成、注、意、ヲ、喚、起、ス、ル、次、ナ、リ			
右、口、表、中、ト、ハ、レ、ル、五、三、年、ハ、一、年、近、ク、オ、ニ、突、堤、ニ、南、政、セ、			
ト、テ、放、置、ス、ル、ニ、付、小、販、独、断、ヲ、大、段、如、意、満、意、ナ、リ、テ、			
課、部、ニ、於、テ、引、取、方、法、迄、如、意、満、意、ナ、リ、テ、候、ル、氣、分、ヲ、為、ス、			

(資料社附)

海軍

日本沈没の以上組ト誤認ニ車ヲ配車セシ上組故ハ一車ノミ
ニテ三井撥ニ車残留セシ次ナルモ本件ハ一車以上過
額ニ残留、其中ノミールルベリヲ銘付枚等モアルヲ以テ之ヲ
前記通り大限額ニ御付ト提供 若シ不要求セザレバ之ヲ
厄崎ニ陸揚サセ概手續セリ 三井撥ハ二車分アリ
此中御書御付驛用ナリ陸揚ハ二車分ハ厄崎向ト推定シ
居ルリ、新所務次ニ。方ホハ新南町長ノ如ク階ヲ入庫後開シテハ毎
車ノモト補シ居ルニ付南政トハ全無關係ナリ旨繰返シ強説シ
置ケリ。

(四) 東洋紡績外南改ニ準シ搬出努力セリ云ノ

④ 帛洋紡績ノ紡績機械ハ巾突提、巾突提併セテ一七〇個
一、二〇。立方尺アリ此ノ時解、並タナク又機力ヲ要スルモノアリ

一方擧用先ノ年費品ニ於テ何等搬出ニ付テ努力ヲナシ居ル
 標榜ヲ示シテ自任ノ能力ニテ搬出困難ト認メタルニ付
 其(大隈重光)川谷大尉ニ本件ニ絶對ニタツキヤスト明言シ居レリ)南政ニ
 準ジテ処置スル要ヲ認メ神戶運輸部ノ電政部ノ員ト
 相談ニ南政ノ輸送率ニヨリ輸送率トナリ小賤三四
 方兩車以テ輸送率下記ニ出向キ今社ヨリ連日現場出張
 ヲ依頼シ三月ニテ了ルヨリ連日四車搬入ノ配車ヲ得テ四突堤
 關係ニ四月廿六日搬出ヲ完了セル次第ナリ此乃川谷大尉
 ニ搬出努力ニ南政ヲ了ルキニ付只輸送率ノミノ交附ナリ
 賴ミタル之亦拒絕サル事ナリ是レ狀況ナリ
 一方中突堤方面ニ殘留セル三五立方米程ハ上組ニテ
 努力問題ニ搬出ニ難矣アリ鐘紡關係ニ手際ヨク機帆
 船ヲ回航セシ富島組ニ寄積込リ担任セシムベノ素任者

海軍

ヲ呼ビ相談セシムル謀、意ヲ表セシ付、東洋紡ニ対シ向先ヲ
 高砂港ニ移スル事ヲ命ジ、今北ノ意アリ得ルニ付上
 級ニ対シモ、早急ニ解決ノ大船ハ見地アリ、繰返意ヲ
 捨テ協力方ヲ依頼、実勢如キ、午ニテ四月十日頃ニ中突
 堤ノ合、機帆出ヨリ、高砂、鐘紡工場ニ疎解セシム
 トトスル

(2) 施設本部ヨリ撥用申あり、元、龍山機帆九ニ主方未(野村)氏
 印、不中、有、シ、ニ付、テ、ハ、四月二十日、至、ニ、七、引、取、ニ、未、中、引、リ、次、
 子、方、設、施、補、給、部、係、員、ノ、未、神、ヲ、中、大、先、計、件、件、ニ、付、
 事、多、ク、何、事、進、給、ナ、ル、者、知、セ、ト、ノ、コ、ト、ニ、付、至、急、上、事、中、未、
 ヲ、三、日、迄、因、テ、ナ、キ、所、居、ハ、大、段、難、解、部、係、員、引、取、ニ、以、テ、港、頭、
 リ、機、帆、セ、シ、ム、中、間、中、止、ニ、テ、結果、四月二十日、未、中、引、リ、回、答、ナ、キ、
 四月十日頃迄、ハ、大、段、引、取、ハ、ト、決、定、セ、リ

(資料社稿)

(3) 一方、艦本其他ヨリ希望アリタル資材ニ付、ハ、未、ダ、引、取、ニ、来、ウ
 ナ、ル、事、ナ、キ、ヲ、以、テ、之、等、ハ、ニ、付、テ、ハ、計、有、令、北、ア、レ、テ、何、有、ノ、一、
 解、物、件、ト、共、ニ、不、取、敢、疎、解、セ、レ、タ、(例、台、林、ノ、五、千、日、受、電、
 機、一、艦、本)

(E) 兵力使用概況

三月十七日、ノ、空、襲、ニ、対、シ、テ、ハ、見、テ、以、テ、ス、ル、ハ、兵、庫、部、海、運、部、等、而、
 ハ、伊、勢、ノ、準備、措置、ヲ、ナ、レ、居、リ、レ、モ、ノ、如、ク、就、中、港、灣、迄、
 部、ノ、根、幹、ヲ、ナ、ル、事、務、務、ニ、付、テ、ハ、四、千、日、受、電、機、等、初、並、疎、解、
 任、務、者、計、シ、テ、就、務、方、第、一、空、襲、ヲ、兩、倍、一、週、日、以、テ、
 空、襲、者、ナ、キ、状、態、ニ、テ、傳、ニ、章、人、信、慮、ヲ、以、テ、補、シ、ト、セ、ル、有、様、ナ、
 リ、依、テ、疎、解、物、件、ノ、取、扱、ト、共、ニ、考、慮、ス、ル、コ、ト、ヲ、ナ、ス、ル

海軍

④ 五平口發電機（台板所有）
 太田三十九年兵分四九リヤリ取レリ（真崎名庫）
 ⑤ 電線三卷（台板所有）
 右の四九リヤリ兵力ニカミテ（真崎名庫）
 ⑥ テレコム工三台（四九リヤリ取レリ）
 右の四九リヤリ兵力ニカミテ（真崎名庫）
 ⑦ 大坂府の備有（台板所有）
 ⑧ トロリス四三組 台板所有
 ⑨ 日本油（台板所有）
 三井倉庫板トレテ（真崎名庫）

④ 鋼索（加奈木工業）
 三井倉庫板トレテ（真崎名庫）
 ⑤ 鋼索（加奈木工業）
 三井倉庫板トレテ（真崎名庫）
 ⑥ 鋼索（加奈木工業）
 三井倉庫板トレテ（真崎名庫）
 ⑦ 鋼索（加奈木工業）
 三井倉庫板トレテ（真崎名庫）
 ⑧ 鋼索（加奈木工業）
 三井倉庫板トレテ（真崎名庫）
 ⑨ 鋼索（加奈木工業）
 三井倉庫板トレテ（真崎名庫）
 ⑩ 鋼索（加奈木工業）
 三井倉庫板トレテ（真崎名庫）

海軍

(e) テーブルに於て拾得品(在神戶市中野村所有)
近日引取ル所
(f) 施設部移用分(野村所有)
通風機 五基 呂宋 一六。其九ニ五方未
本三對シテ引取促進、結果ハ大段施設補給部
ニ於テ近日引取ノフトナレリ。
(g) 艦本移用分 (在振込有)
④ 電線 十基、心ト
本ハ三基電機機ノ、三月テ言引取ニ来レリ
⑤ 五キロ電機機一基
引取ニ来。

(d) リトホシ(三井物産)
移用先官概湯浅高島地、貨車積々
(h) X形シ機機外(台機タンシ)
現津無引取未ニ、范陝回遊、見地ヨリ一時
及神、留奥崎、跡解セシメアリ
(H) 各社別搬出状況概説
跡解、付主要セ、付考考、ニ各社別ニ概要説明
スルストラス。(主トレテ空載後セ)
① 五基電機 岩國行、一車、新直ニ車トナレ
② 三井物産 仙北行、二車、四車

(資料註明)

海軍

(3) 加勢水 2 斗

二

車、計費
四車トナリ

(4) 亜細亜バルカ(勿来軒)一五四立方尺ノ計算ナレ共。三〇立方尺程

度ノ目算アリ五車ノ予定七車トナ

日本油船（尼崎行）最初神崎航行十一日、荷揚不能ヨリ

尼崎 二番 二車 一車 トナリ

(6) 野村 弘光 氣 款行

ト云云ニ本ヲ市伊搬出、ヲ定ナリ

止るべき後不可能トナリ、貨車五輛

ニヨリ 搬 出ス

(7) 南夏正統

金市行

獸向老于變更入

獸二向先子愛更入

(8) 大旱紡

大陽行

水戸丸揚々ニ火災ニヨリ十日ヲ要

レ成績サカシカズ オニ航ヲ取消シ

燒失錢七。立米二休一。獨力搬出。

(9) 鐘紡

セ・レ・ル・ト・スト

約半數搬出空腔了殘是
五〇〇五米

高砂行、機帆船ヲ用也。

トニテ解沐、トニテ中北焼失、トニテ爲現場

努力は
ス

(10) 瓜原產於

一。五市、中末丸、清心丸、一五五方

米ヲ送リ大隈
強シ自北航吉
祥丸

二般海セリケニストス

(11) 野村馳電

傳燈還
るや空ドラム
二〇〇九

新合良ノ海軍ノ船アリタル

三ノ上積ヤシム

経済保生課に連絡・隠匿物資トレテ認定・改
メテ特用スル方途ヲトモス。

(四) 隠匿物資認定の場合、業務上、有主ヲモテル如キ物ヲ
生ゼシタル場合ハ、軍ニ於テ借用・特用債ヲ支拂フコト
ニ依リ解決ヲ計ルコト。

(五) 地方ニ隠匿セラルル隠匿物資ハ、該物資係経済保生課
事務課長ニ於テ隠匿物資ノ対照トナサレツ、ア
ルモノト思フレハ、付斯ル場合ハ、之ト協力戦局全般ニ
即チ應ゼシムル如ク措置スルコト。

(六) 自家特用ノモノハ、特種ナシノヲ除キ、内地事務課ニ付テハ
一応ノ支障ナシニテ、南方何トシテ借出シタルモノハ
母キ他方面ニ換付ノ上、特用セシムルモノニ於テ
此レテ支障ナシモノト思フ。

(四) 陸軍ニテ特用先決定セラルハ、輸送券ヲ發行以テ急遽
戦力化ニ便ナラシム。

(五) 焼夷弾攻撃ヲ受ル危險大ナル場所ニ、疎解セラルモノ
ニ付テハ、更ニオニ次疎解ヲナサレム。

ノ方途カモナラント思フモノハ、特用券ヲ中絶目決定モ曉ハ、軍
内部ニ於テ特用先決定ノ連絡會議ノ開ク要アリト思フ。

勿論特用ハ、神戸港ヨリ疎解セラルモノ、及後東ヨリノ地方常例ヲ
併セテ考慮スルコト必要ナリ。

以上

日誌

神戸港ニ於テ出張日誌、次ノ通り記録セリ。(後尾ニ付)

海軍

海運部南上屋及倉庫	
(1) 倉庫	上屋A B C D E F 中A B D E 焼失。屋外藏置物件相次焼失。荷役機、被火、本機、被火。
(2) 倉庫	G H I J 上屋共異状ナレ。但し電線被火。
(3) 倉庫	K L M N 上屋中K 全焼。M 蔵置物件焼失。上屋使用可能。屋外物件一部焼失。
(4) 倉庫	実地焼失。彈落下一部。貨物焼失。上屋。
(5) 倉庫	O P Q R 共異状ナレ。
(6) 倉庫	S T U V 上屋異状ナレ。
(7) 倉庫	異状ナレ。

(1) 倉庫	67810号焼失。
(2) 倉庫	全焼。
(3) 倉庫	神戸市南上屋及倉庫。
(4) 倉庫	中安堤 A B C D E F 中C 倉庫焼失。A 一部焼失。屋外貨物一部焼失。
(5) 倉庫	全焼。
(6) 倉庫	倉庫異状ナレ。被火物件、損害、ミラ使用可能。
(7) 倉庫	見込 T M O Q R 24 25 号 共 全焼。
(8) 倉庫	日本倉庫関係。
(9) 倉庫	被害坪数 四一五三坪五五三 全坪数 一五万三千坪ニ比シ 二六五。

(資料証明)

海軍

米量	10,000 (不正確)
野米	10,000 ()
合計	20,000 ()
(六) 南政以外海軍関係	
特設燃料廠	六燃料関係係物 三〇〇 取飛交焼
失(二割六分)	砂糖(一六〇〇 取飛失)
(二) 運送物件	取飛中(一七〇 相当) 損失(一七〇 損失)
(七) 船ノ被害	
利用船(八五〇 取飛中) 約五〇% 沈没(一七〇 燒失) 從ツテ利用可能残留分(一四五〇 取飛 船火燒) 解多シ	

(八) 民船	
半分被害損傷	二二日現在九隻就航(一六リ)
海運向本船用民船(三隻) 共運航不能目下陸軍運	輸部(一七リ) 修理依頼中
(九) 労力問題	
荷役人夫ノ住居地(一七リ) 兵庫、高松、其外方面(四隻) 爲メ稼取(一七リ) 悪ク且罹災セザリレ 労務者モ却テ疎解ニ懸念(一七リ) 爲メ神戸港ノ沈没(一五六日) 船ノ停止ノ状況ヲ觀カ根元ヲ輸送ヲ担當スル 神戸港トシテ 船ノ塞心ニ耐ハサル(一七リ) 殊ニ疎有貨物ヲ南側ニ焼失ヨリ免レシムル爲メニ神戸港(一七リ) 疎ハ実力ニ乏シク 労務者ノ戦時意識(一七リ) 大ニ乏シク 勞務者用食料(一七リ) 留停止セル状況ナリ 依テ緊急物資ノ撈獲(一七リ) 陸軍	

(資料註記)

海軍

連日敵砲より兵力ヲ使用シ此に現ナリ
 斯レキヲ繰返カハル様港灣ヲ封鎖シ一軍属徴用其他
 一諸軍一密ヲ補給セリ
 (南洋南洋貨物ヲ搬送シ此に上組、中組、下組ニ分テ之ヲ常務
 者、給部、中、下組カ、二日、三日以下、中三日、下三日
 二二〇%、其後三三〇%、四四〇%、五五〇%、六六〇%、七
 七〇%、八八〇%、九九〇%、一〇〇%、此等ノ諸貨物搬出ニ
 差支ヲ生セル者ニ三日ノ積込内此ヨリ、兵力ヲ連日ヨリ
 言名使用シ此に現ナリ
 今艦船、沿岸、西岸、役ニ付概説セバ
 西岸、役ニ二百名以上、華人及兵力(平日二二〇名)
 ヲ使用シ此ヨリ、五五〇名ノ役役可能ナル之艦、一被砲ニヨリ
 相当ノ困難アリ、沿岸、役ニ以テ一都ヲ捕フヲ要スル

艦船、沿岸、役

常備ノ可動数ハ五分ニ百名程ナト思フ
 (2) 沿岸、役
 出動艦ニ悪ク兵力數面者、助力ヨリ其ノ補ヲナシ此
 一、可動數ハ二五〇名程ナト思フ、但レ一通、二、三
 一〇〇〇名トナリ想シ此レナリ
 (3) 陸上、役 (水上、役関係)
 水上、役関係ノミテ之被砲相当アリ、兵隊、捕小、運送、ヤ、部、ニ
 ニテモ水上ニ援助ヲナスト不可能ノ状況ナリ、
 馬車、八〇台中、三六台可動、残、被砲ヲ受ク
 小車、三〇台中、四〇台、残、被砲ヲ受ク
 依テ軍部ヨリ手車ヲ援助スル様依頼中ノナリ

艦船、沿岸、役

(資料社)

海軍

機械設備

卷之十

神戶港船舶二波岸・才田突堤引込線二米

72

勿論ナリと言ふレ

海軍

最寄港ニ移行スルニテ其ノ金能力月七十
 万兩ニ対シ日本海ノ金能力四万兩ニテ結局神ノ
 急連ナル回復先決問題ニ至ルナリ
 復旧通ルル原因ノ一トシテ大阪ニ三月十四日金龍アリ
 港津地帯ニ甚方ニ損害アリ 神戸ノ未接不可
 能ナリレニトモ鯉分ゲ得ルベシ
 以上
 附 神戸港埠頭是圖ハ表添附セリ

日誌
 三月十一日 上野郡留トテ、東京電
 三月十二日 各長尾金龍アリ、夜上野、下野、
 神戸運轉部、三橋、小松、訖ヨリ現在
 延、状況ヲ聴取
 大阪金龍アリ、交通全部不通
 神戸現場見廻リ
 大阪大目、坊ニテ、和丸、荷揚習促、石原
 産業、清丸、ナリ、荷揚習促、老岐、伊、ト追加
 貨車、割当ニ付、古、運、部、ナリ
 神戸金龍、埠頭、被害、状況、視察
 本日は、法、停止、少松、訖、ナリ
 本日は、法、停止、午、艦、機、ノ、乗、艦、アリ

海軍

四安燒鐵道。被禦アリ。冬方面ト連。結石モ。琢解
掘出ノ見込立ヌ

三月二十日

荷役南姓見込土久々午名大沼二名張石原産業

手抄本

大日本紡績ヲ訪問ヲ爲ス。清正丸ノ荷揚督従。
車澤紡績大坂本社ヲ訪問。南坂ニテ搬出督方
ニ付折戻ヲ受。

三十一日

當與組依此因店二付和田岬鐘紡本社二後步
四時另要レ訪同搬出許並二付平努力方
打金了了了

依照何極南姑：至心之
四定是被爆今時

明邦修理完了不三付松本少佐、兵力援
助、付依頼云々

二月二十

新治修羅完了。上組と打合荒事、神戶港駛

方面：主力ヲ注グニトス。

午有荷捌司合部打合公水上署ニ於テ宣讀後
旁國内ハ建設的意見ナシ 全席、神戸港

駿長ヨリニテヨリノ就事ノ了解ヲ得直ニ上組ヲ求

二種ハ針灸ヲ主シ神戶港駅平掛ト詳細ナ
折合ス。兵力多助メ女兵亦在リ。

予定通リノ讀ム者短不悉ニ
ハ新訳ナレバ必ズ有リ

六車一積以二、兵力能乎頃以並心

富島組 漸々事務を整理せしむるに努むる

係一搬出三旁力心字最難領、合社毛筆此了均下

大陽堂 佛子 一 摺 伊 之 牙 像 在 赤 部 總 及 折 卷

質平積順調

貨車積壓調
駛行、輸送
券交附、付催促

海軍

三月十一日 船運事務を整理する
 三月十二日 船運事務を整理する
 三月十三日 船運事務を整理する
 三月十四日 船運事務を整理する
 三月十五日 船運事務を整理する
 三月十六日 船運事務を整理する
 三月十七日 船運事務を整理する
 三月十八日 船運事務を整理する
 三月十九日 船運事務を整理する
 三月二十日 船運事務を整理する
 三月二十一日 船運事務を整理する
 三月二十二日 船運事務を整理する
 三月二十三日 船運事務を整理する
 三月二十四日 船運事務を整理する
 三月二十五日 船運事務を整理する
 三月二十六日 船運事務を整理する
 三月二十七日 船運事務を整理する
 三月二十八日 船運事務を整理する
 三月二十九日 船運事務を整理する
 三月三十日 船運事務を整理する

三月十一日 船運事務を整理する
 三月十二日 船運事務を整理する
 三月十三日 船運事務を整理する
 三月十四日 船運事務を整理する
 三月十五日 船運事務を整理する
 三月十六日 船運事務を整理する
 三月十七日 船運事務を整理する
 三月十八日 船運事務を整理する
 三月十九日 船運事務を整理する
 三月二十日 船運事務を整理する
 三月二十一日 船運事務を整理する
 三月二十二日 船運事務を整理する
 三月二十三日 船運事務を整理する
 三月二十四日 船運事務を整理する
 三月二十五日 船運事務を整理する
 三月二十六日 船運事務を整理する
 三月二十七日 船運事務を整理する
 三月二十八日 船運事務を整理する
 三月二十九日 船運事務を整理する
 三月三十日 船運事務を整理する

海軍

堀子、子島、改止場七。之方、其、機帆船ヲ操入
 操合、升、其、和、機、操、入、其、不、良、為、不、能、用
 船ヲ出、不、下、不、能、ト、言、海、人、
 四日、
 追加、今、四、北、機、船、見、了、。東、洋、船、一、中、突、
 堤、四、。米、。付、上、組、。其、能、力、才、ヤ、。ト、認、ト、
 富、島、組、ト、協、力、。及、。才、。ト、。命、。止、。富、島、組、。之、。努、
 カ、。好、。セ、。リ、
 四日、
 午、前、。中、。突、。堤、。ヲ、。廻、。リ、。積、。載、。シ、。十、。キ、。ヤ、。ヲ、。積、。分、。ス、
 大、。目、。本、。船、。。十、。日、。迄、。。機、。帆、。船、。。ヨ、。リ、。津、。守、。。送、。ル、
 三、。ト、。ト、。決、。定、。、。東、。洋、。船、。。之、。付、。上、。之、。富、。島、。組、。。三、。台、。機、
 十、。日、。前、。後、。之、。富、。島、。組、。。機、。帆、。船、。。ヲ、。回、。航、。ノ、。三、。ト、。ト、。決、。定、
 四日、
 富、。島、。組、。。海、。軍、。。轉、。用、。ノ、。件、。折、。合、。為、。機、。帆、。船、
 四日、
 富、。島、。組、。。海、。軍、。。轉、。用、。ノ、。件、。折、。合、。為、。機、。帆、。船、

機帆船ヲ留守、海崎ヲ針ト引取ニ付、
 細打合也
 四月八日、
 以上

(章見社納)

海軍

B9 (一) 表

貨 車 輸 送 量 表

大 阪 海 運 港 神 戸 支 部

月 日	出 発 地	輸 送 品 名 (荷役者)	品 名	個 数	容 積 (立方米)	重 量 (ト ン)	形 式	現 置 場 所	着 陸 地	積 込 組	備 考
3.11	神戸港	国際電通	74x機械外	150	15.680	1.600	74	2	四突	小野	上組
"	湊川	鐘淵工業	紡機	14	20.000	10.000	14	1	中突	西脇	富島
3.12	神戸港	国際電通	74x機械外	19	13.050	7.249	7	1	四突	北野田	上組
"	"	興南林業	製材機外	130	38.773	21.885	14	3	"	高岡	"
3.13	湊川	鐘淵工業	紡機	88	65.000	40.000	14	3	中突	西脇	富島組
3.14	神戸港	野田通商	10x機械外	132	9.600	3.150	7	1	四突	安城	上組
"	"	"	文房具外	275	60.000	36.000	74	3	"	梅田	"
"	湊川	鐘淵工業	紡機	14	22.000	10.000	14	1	中突	西脇	富島組
3.15	神戸港	国際電通	74x機械外	18	13.050	7.249	7	1	四突	北野田	上組
"	湊川	鐘淵工業	紡機	14	22.000	10.000	14	1	中突	西脇	富島組
3.16	神戸港	船井製陶	製管機外	14	15.290	5.500	14	1	四突	常滑	上組
"	湊川	鐘淵工業	紡機	14	22.000	10.000	14	1	中突	西脇	富島
小計				982	316.443	162.433		19			
3.23	神戸港	麻生製菓	安全灯外	186	14.227	20.435	14	2	四突	新鶴塚	上組
"	"	王子製紙	製紙機外	116	23.047	8.466	74	1	"	岩国	"
3.24	神戸港	三井物産	74x機械外	23	16.000	10.000	74	1	"	仙台	"

E-0047

0183

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

89 (二) 表

貨物輸送実績

大正十一年三月

月	日	品名	数量	容積 (立方尺)	重量 (噸)	品名	数量	容積 (立方尺)	重量 (噸)	品名	数量	容積 (立方尺)	重量 (噸)
3.25	神戸港	南洋船油	247	14,980	9,000	74	1	四突	高島	上組			
"	"	日本油脂	30	22,800	12,000	13	1	"	尾崎	"			
"	"	昭和ゴム	31	12,964	1,662	1	1	"	北4住	"			
"	"	三井物産	22	16,000	10,000	74	1	"	仙台	"			
3.26	"	豊田自動車	11	5,350	4,500	14	1	"	品川	"			
"	"	三井物産	33	4,950	1,520	"	"	"	谷	"			
"	"	豊田自動車	25	12,430	8,000	14	1	"	梅田	日新組			
"	"	加藤工業	432	20,000	37,000	14	3	二突	高槻	日新組			
"	"	三井物産	600	33,390	32,000	74	2	五突	高槻	日新組			
3.27	"	玉子製紙	33	8,000	3,400	1	1	四突	岩国	上組			
"	"	重細重油	27	24,336	12,000	14	1	"	勿来	"			
"	"	野村船油	5	63,410	6,000	13	1	二突	市川	大日			
3.28	"	三井物産	6	12,000	6,000	1	1	四突	仙台	上組			
"	"	重細重油	103	97,344	52,000	14	4	"	勿来	"			
"	"	大日本油脂	61	25,000	15,200	14	1	"	和歌山	"			
3.29	"	台湾船油	22	80,218	26,347	13	2	"	住吉	"			
		台湾船油		43,476									

E-0047

0184

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

B9 (三)表

貨車輸送実績

大正14年度運輸統計

月日	出所	貨主(荷役者)	品名	個数	容積(立方米)	重量(トン)	形式	台数	現着場所	積込	積込	積込
3.30	神戸港	南重工業	機械部品	15	24.530	12.000	7	2	田安	今市	上組	
		野村殖産	ポンプ水	161	46.000	54.000	1.5	4		倉敷	手定二車	
4.14	"	三井物産	ペイント機械	20	16.000	8.000	1	1		仙台	追加分	
"	"	重細重工業	製紙機械	6	33.000	18.000	1.3	1		白木		
"	"	野村殖産	ポンプ水	39	10.000	8.000	1.3	1		倉敷		
"	"	加藤木工業	鋼索	30	7.500	13.000	1.3	1		梅田		
			小計	2294	562.734	370.250		37				
			総計	3196	879.177	532.683		56				
4.10	多摩	日本重工業	機械部品	25	5.000	8.000	1.3	1	田安	三井	三井	追加
		油脂	雨計	4201	894.177	540.683		57				
3.15	神戶港	口研	機械部品	375	52.000	45.000	7.6	3	田安	惠美須	田安	新港
			雨計	4576	946.177	585.683		60				

E-0047

0185

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

C表

トナリ馬車

計量表

大正陸軍省機務課口支費

日	種	品名	個数	容積 (立方尺)	重量 (kg)	形	式	場所	備考
3.7	台 柘	機械類	41	2.996	30.50	自動車	1	四突 奥崎	上組
3.9	鐘工	紡 機	25	16.000	6.000	自動車	3	兵突 兵庫工場	富島組
	野村殖産	ポンプ水	30	9.000	7.500	馬車	1	四突 外人墓地	上組
			10	3.000	2.500	"	1	中突 "	大日
	台 柘	機械類	209	6.694	2.180	自動車	1	四突 奥崎	上組
3.10	台 柘	"	16	26.679	16.600	"	2	"	"
	鐘工	紡 機	70	49.000	28.000	"	8	重突 兵庫工場	富島組
	野村殖産	ポンプ水	50	17.000	14.000	馬車	3	中突 外人墓地	大日
3.11	南洋産業	機械類	3	5.000	2.000	自動車	1	四突 奥崎	上組
	鐘工	紡 機	55	41.000	26.000	"	7	兵突 兵庫工場	富島組
3.12	台 柘	機械類	3	1.000	0.800	"	1	四突 奥崎	上組
	鐘工	紡 機	50	39.000	25.000	"	5	兵突 兵庫工場	富島組
3.13	南洋産業	機械類	3	4.600	2.581	"	1	四突 奥崎	上組
3.13	鐘工	紡 機	20	21.000	14.000	"	3	兵突 兵庫工場	富島組
3.15	南洋産業	機械類	20	10.500	6.000	"	1	四突 奥崎	上組
	野村殖産	ポンプ水	10	3.000	2.500	馬車	1	中突 外人墓地	大日
3.16	鐘工	紡 機	30	25.000	12.000	自動車	4	兵突 兵庫工場	富島組
			35	32.800	13.500	"	2	"	"
3.24	野村殖産	製品類	20	20.000	10.000	馬車	3	二突 市中	大日
3.26	台 柘	機械類	28	14.419	7.430	自動車	2	四突 奥崎	上組
3.28	野村殖産	ポンプ水	100	24.000	15.500	馬車	10	四突 外人墓地	"
4.10(予定)	兼 松	台 柘	10	5.000	1.800	"	2	" 市中	"
合計			548	237.286	206.491				
				269.586	219.971				

E-0047

0并、2表

貨單表
計量表
實數

大正海軍軍需局附屬戸支所

月日	品名	品名	個數	容積 (立方米)	重量 (キログラム)	記	備考
現地所	品名	品名	個數	容積	重量	記	備考
4室3室	木造船関係	機械類	250	400.000	200.000	X+造船	井岡物産・新南興業等リ
4室3室 2室	木造船関係	"	800	1,000.000	600.000		
				2,685.880	1,877.100		

E-0047

0188

表 南政ヨリ他部局ニ
移付ノ搬出状況(昭和24年)

大東亜戦争犠牲者追悼会

搬出日	搬出場所	品名	個数	容積 (立方米)	重量 (kg)	方法	向先	金額	備考
3.31	船本	麻生鋸業 耐火煉瓦	2500 5000	77.879 41.250	30.000 30.000	142 貨車	四突 掛川	上組	神戸港
4.1	"	小野田セメント 耐火煉瓦	35675	155.758	60.000	142 "	丹後山田	"	"
4.2	"	セメント 建具板 ボルト 犬釘	2280 1290 11200	10.000	35.000	132 "	2突 大船	日倉	"
4/10~4/20	船本	日本製鋼所 耐火煉瓦	45836 13156	76.140 243.509	41.000 219.486	142 貨車	四突 大船	上組	"
4/6~4/12	船本	麻生鋸業 耐火煉瓦	12418	127.244	149.016	13 80	掛川	"	"
"	"	小野田セメント 機軸類	8801 160	168.225	140.000 103.000	74 121	丹後山田	"	"
"	"	麻生鋸業 耐火煉瓦	5930	81.538	73.494	14 4	田端	"	"
"	"	" 耐火煉瓦	6662	82.275	79.996	" 4	鹿瀬	"	"
4/10~4/20	セメント	新築合		18.000	40.000	13 2	2突 大船	日倉	"
合計				1,077.818	1,008.992				
4/10~4/20	南政開二幸	電報類	440	110.000	35.000		2H 19 留		
兩計				1,187.818	1,043.992				

F表

船舶及貨車輸送実績表

大正十四年度輸送実績

日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							
日		求	品		容 積 重 量							

計

9表

計量表

大正十一年三月二十九日

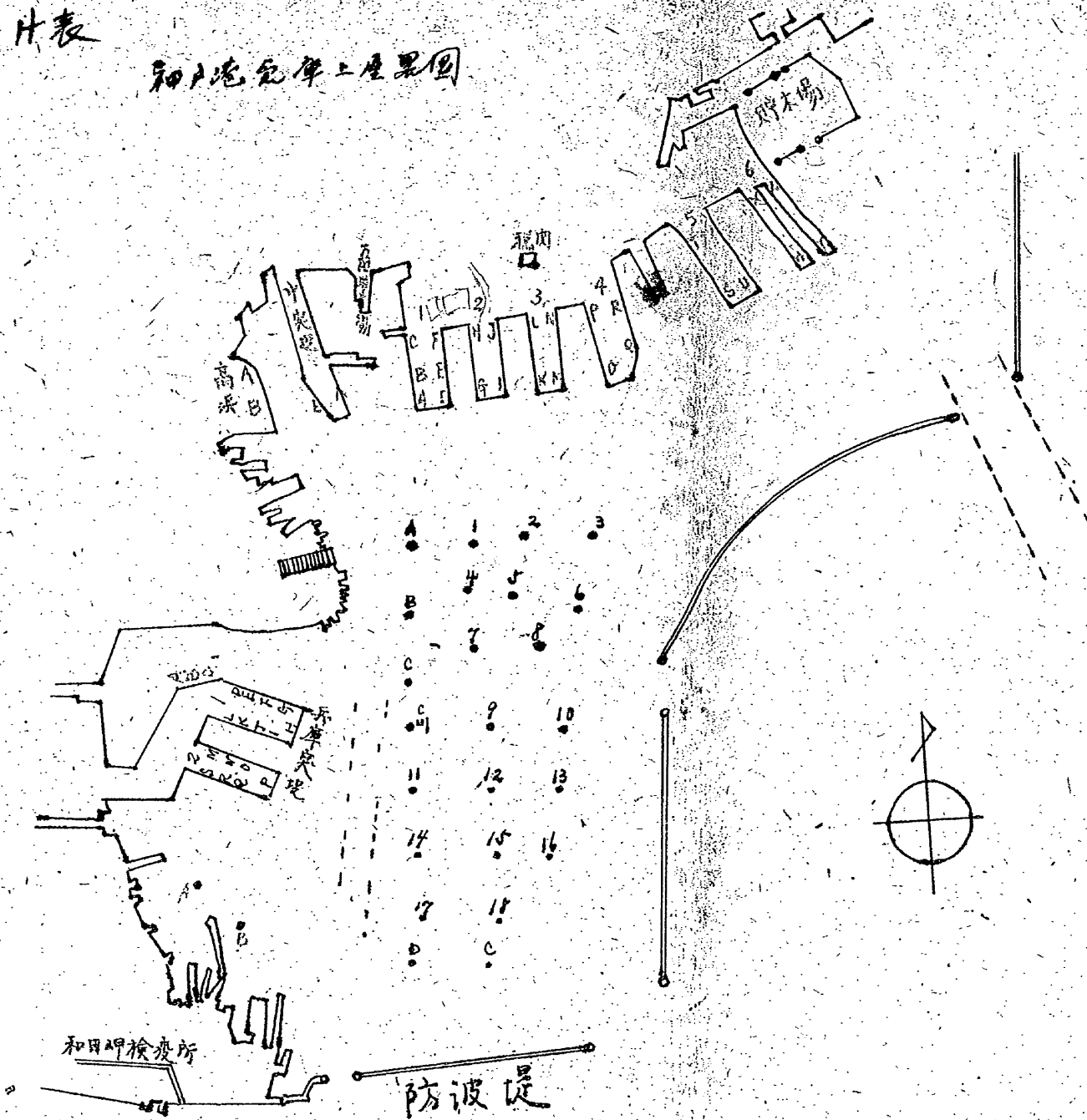
1875 昭和三年三月二十九日

日	姓	要求品 (簡明者)	品名	個数	容積 (立方メートル)	重量 (キログラム)	備考	数量	社名	発車日	備考	
番号	姓	社名	発車日					番号	姓	社名	発車日	備考
141	新沼	毎週飲食	3/23					161	金教	野村車印	4/4	14分(4分、5分)
142	北川	昭和5年	3/25					162	仙女	三井物産	4/4	追加
143	尾崎	日本油脂	3/25					163	梅田	加藤木工業	4/4	
144	土山	東洋紡績	443 3/26					164	土山	東洋紡	4/3	
145	梅田	加藤木工業	3/26					165	土山		4/5	
146	勿来	亜細亜ハル	3/26					120~1	小野町	玉隆電気	11/3 1/3	15分 150
147	土山	東洋紡績	140 585 3/27					120~2	北野町	包海拓殖	11/3 1/3	通信員
148	岩田	五五紙	332 3/27									
149	市川	野村車印	55 3/27									
150	和歌山	大日本油脂	615 3/28									
151	仙女	三井物産	15 3/28									
152	勿来	亜細亜ハル	3/28									
153	土山	東洋紡績	25 3/28									
154	今市	南亞在業	3/29									
155	佐々	東洋紡績	3/29									
156	土山	東洋紡績	42 3/29									
157	佐々	東洋紡績	12 3/29				不要					
158	土山	東洋紡績	3/30									
159	土山	"	3/31									
160	勿来	亜細亜ハル	1/4									

計

片表

和戸港砲台上屋裏図



E-0047

0192

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

南方向機帆船積予定滞貨処理ニ関スル件(案)
 二〇四二六 南方政務部
 南方向機帆船六隻ノ進出一時中止ニ伴フ首題ノ件ノ左記
 一依リ急遽実施スルモトス
 記
 一原則トシテ滞貨所有各社ニ於テ目社轉用ヲ禁セラルモトス
 二艦政本部、航空本部等ニ於テ特ニ要望スルモノニ付テハ
 三が轉用先ニ南方政務部ニ於テ關係部局ト協議決
 定ス

海軍

三神戸港頭ヨリ疎開ハ各轉用先ニ於テ五月五日迄ニ実施
 スルモトス
 四五月五日迄ニ疎開レ得テ資材ニ付テハ大阪警備府、軍需
 監理部等ニ於テ概宜轉用及疎開ヲ実施ス
 備考(イ)機帆船積予定滞貨
 (終)

海軍

13151

原配

神戸港頭開港物資ハ五月五日迄ニ疎開
コウベコウトリカハソハワシハモリカ
セリモノニ付近畿軍需監理部ニテ處分
スル事ニ合議決定ス至急係官派遣シテ
ルコトニカイヤケツテイヌシヤフカカリ
ンハケンコウレシ
神戸運輸部

コウベ	コウトリ	カハ	ソハ	ワシ	ハ	モリ	カ
コウベ	コウトリ	カハ	ソハ	ワシ	ハ	モリ	カ
コウベ	コウトリ	カハ	ソハ	ワシ	ハ	モリ	カ
コウベ	コウトリ	カハ	ソハ	ワシ	ハ	モリ	カ
コウベ	コウトリ	カハ	ソハ	ワシ	ハ	モリ	カ
コウベ	コウトリ	カハ	ソハ	ワシ	ハ	モリ	カ
コウベ	コウトリ	カハ	ソハ	ワシ	ハ	モリ	カ
コウベ	コウトリ	カハ	ソハ	ワシ	ハ	モリ	カ

204.24
課信電

15002

E-0047

0194

寫

秘

艦本機密第一一號ノ五七一四

昭和二十年四月二十八日

在神戶海軍監督官殿

海軍艦政本部總務部第一課長

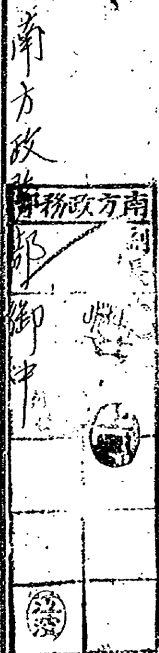
南方向渡貨取得ノ件依願

首題ノ件海軍省南方艦務部ヨリ艦政本部宛左記ノ通牒當有之候條至該取得方手配相成度

追而右ハ五月五日迄ニ取得不能ノ際ハ軍需監理部へ移管トナルニ付爲念

記

品名	数量	所有者	所在地	轉用	先
機材機一式 (ミサイル) グラジアップ	八台	台灣拓殖	神戶港埠頭	三愛重工神戶造船所	
	一台	日本油脂	同右	同右	



了済ノ資料持用内係留



(花崎)

海軍

南方	事務	部長	副部長
事務	部長	副部長	
事務	部長	副部長	
事務	部長	副部長	

昭和二十年五月一日

昭和二十年五月一日

保科

80.5.1
接受

82

寫

佐世保鎮守府參謀長 殿

南方向清貨物轉用ノ件照會

前題ノ關シ無遠慮力化ノ要アリ付別紙ニ依リ貴府ニ轉用相成備修
進ニ別紙方取計相成度

(別紙添)

高松付先
南方事務部長
大日本倉庫統制株式會社
第一新港營業所長

記

所在場所 神戶區海岸通七ノ二

箱養飼及品名 大日本倉庫統制株式會社第一新港營業所

三〇一 一 ヤンマーディーゼルモーター

三〇五九 ヤンマーディーゼルエンジン

三〇一六〇 月型馬力

轉用先 佐世保鎮守府(五島列島五島郡江島開墾用)
運搬方式 借用(倉庫)借用證ヲ入レ引取ノコト

(終)

(終)

<http://www.jacar.go.jp>

寫

海軍省南方政策部長

軍務三機密第四八三號

昭和二十年五月九日

五月十日送附

海軍省軍務局長

海軍省軍需局長
海軍省軍務局長
海軍省軍醫局長
海軍省軍法局長
海軍省軍紀局長
海軍省軍政局長
海軍省軍計局長
海軍省軍庫局長
海軍省軍造局長
海軍省軍修局長
海軍省軍給局長
海軍省軍醫局長
海軍省軍法局長
海軍省軍紀局長
海軍省軍政局長
海軍省軍計局長
海軍省軍庫局長
海軍省軍造局長
海軍省軍修局長
海軍省軍給局長

阪神港頭地區灣管疎開處理方針ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シ大阪警備府參謀長ヨリ別紙第一ノ通照會有之別紙第二ノ通照會致シタルニ付了知ノ上可然手配アリ

(別紙第一、第二添)

寫送付先

大阪警備府參謀長
海軍省軍需局長
海軍省軍務局長
海軍省軍醫局長
海軍省軍法局長
海軍省軍紀局長
海軍省軍政局長
海軍省軍計局長
海軍省軍庫局長
海軍省軍造局長
海軍省軍修局長
海軍省軍給局長

海軍省南方政策部長

(終)

20.5.11
授受
12

(別紙第一)
阪警密第七〇號、加

昭和二十年四月二十七日

大阪警備府參謀長

海軍省軍務局長
海軍航空本部部長
海軍艦隊本部部長
海軍燃料本部部長

大阪及神戸港頭地區物資疎開處理方針ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シ本月十九日並ニ二十日現地陸海軍、地方行政協議會
近畿軍需監理部及大阪神戸各海運部等ニ協議ノ結果左記ノ通決定致
候條可然御手配相成度

記

一 大阪及神戸埠頭地區ノ物資資材中可燃物件(但シ耐彈倉庫收納中
ノモノヲ除ク)一ケ年以上ノ貯實物資及重方物資資材ハ五月五日迄
ニ疎開完了ノコト

五月五日迄ニ引取殘ニ對シテ他ノ引取能力アル部門ニテ引取ルコ
トヲ認ムルコト

但シ一應所有者ノ了解ヲ得ルコト所有者ハソレニ對シ原則トシテ拒
マザルコト

二 其ノ他ノ資材モ急遽戰力化ノ趣旨ニ依リ出來ル丈製品化ニ努ムル
コト

篇送付先

大阪海軍監督長	阪監神戸出張所長
大阪在勤海軍武官	神戸在勤海軍武官
大阪海軍經理部長	大阪海軍軍需部長
大阪海軍運輸部長	大阪海軍施設部長
大阪海軍運輸部神戸支部長	

(終)

(別紙二)

軍務三機密照加八二號、二

昭和二十年五月九日

海軍省軍務局長

大阪警備府參謀長殿

大阪及神戸港頭地區滯貨疎開處理方針ニ關スル件照會

阪警機密第七〇號ノ四ニ依ル首題ノ件貴地ニ於ケル決定通處理相斥痛

寫送付先

大坂軍運輸部神戶支部
大坂軍運輸部長
大坂軍運輸部長
大坂軍運輸部長
大坂軍運輸部長
大坂軍運輸部長

(終)

南政機密第一三〇號

昭和二十年五月十日

大阪海軍運輸部長殿

海軍省南方政務部長

第一共和丸積荷ノ揚搭及輸送ニ關スル件照會

首題ノ件左記ニ依リ可然取計相成度

一 南政關係

品名	個數	容積	重量	揚地	引取先	會社名	記
タイヤチン	二〇〇	三〇〇七	六四〇	大阪	第十一海軍航空廠大阪補給工場	三井物産	一括航本ニ轉用決定
自動車部品	七一	三八九八	五二八		岩井産業	自配	補給工場ヨリ買部宛連絡ス
材料	一五五	一六〇〇	一六三		岩井産業	岩井産業	大阪岩井産業ニ連絡
配電工具類	一二	一四三	一九四		日産産業	米屋産業	日産産業ヨリ買部宛連絡セシム

海軍

三 經理司關係

品名	個數	容積	重量	揚地	引取先	會社名	記
新聞印刷用紙	二六	三〇〇〇	一四〇〇	大阪	大阪經理部	維交三菱	阪經ト連絡ノ上適宜
綿織物	六	〇六五	〇三八			大同	保管サレ度

需送付先

航空本部第七部長
大阪海軍運輸部長
大阪海軍運輸部神戸支隊長
海軍省経理局第四課長

(終)

海軍

海軍第一三八號

昭和二十年五月二十二日

海軍省南方政務部副長

海軍施設本部總務部第二課長 殿

綿材轉用ニ關スル件照會

南方向潛貨資材中綿材若干量有之候處本資材ハ緊急戰備達成上極メテ重要ナルモノト思料セラルルニ付貴部ニ於テ必要アラバ左記ニ依リ一

部轉用差支無之候條御回報ヲ得度

記

一 數 量 一二地六二(一五五ケ)

二 轉用可能量 約八地

三 所有者

岩井産業株式會社

日本橋區小船町二ノ一小倉ビル内(00) 三三五一六

海軍

四所

在

南方向機帆船第一共和丸ニ既ニ積込シアルモノ同船ハ進出取止メトナリタルニ付近々大阪ニテ揚荷ノ上大阪ノ岩井産業倉庫ニ引取ノコトニ乎配濟

(寫送付先、軍務司三課長、岩井産業株式會社)

(終)

海軍

寫

南方政務部 江波主計大尉殿

契第三號ノ七

昭和三年五月二十五日

海軍省経理局第五課長

名古屋海軍監督官殿

貨物自動車用タイヤ製造ニ関スル件依頼

航空本部名古屋半田倉庫保管中、首題品七〇本別紙二分、通
發送方御取計願度

追印手續完了、節八御一報相煩度

(別紙添)

(終)

寫送付先

南方政務部

江波主計大尉

航本七部二課

新各部署員

海軍

(双文館納)

区分表

送付會社名	住所、(送付先)	送付数量
大塚製作所品川工場	東京都品川区東品川四ノ二〇	二〇〇本
三菱電機株式会社	神奈川県大船町大船八〇〇	一〇〇本
海軍鐵道局岡崎倉庫岡崎市傳馬町七一		六〇本
松下電器産業株式会社 三郷村大字高瀬田世木二二〇	大阪府北河内郡	九〇本
海軍省経理局		二五〇本
計		七〇〇本

海軍

E-0047

0204

南政機密第一四号

昭和二十年六月二日

篇

海軍省南方政務部長殿

大政警備府参謀長殿

内務省ヨリ公借セル土木関係機器、処理関係件照令
裏ニ貴府ニ轉用セル南方滞貨資材中左記土木関
係機器ハ南西方面海軍、民政府管下ニ於ケル各種施設
建設用トシテ同民政府ニ於テ内務省ヨリ公借セル物
件ニ一部ニ有之候條内務省トノ連絡上貴府ヨリ當
部宛、借用証送付相成度
追而貴府関係轉用資材明細書焼失セル為再
調製中ニ付完成次第送付可致

海軍

(鈴木納)

記

コンクリートミキサー

一台

トロフコ用レール

四三組

トロフコ用車輪

一個 (五台分)

軸承函

五包 (五台分)

渦巻ホシプ

一台

複腹ウインチ

一台

寫送付先

南西方面海軍民政府交通土木局長

(終)

大政海軍施設部長

海軍

(鈴木納)

極秘

南政機密第一三九號

昭和二十年六月五日

海軍省南方政務部長

大阪警備府參謀長殿
大阪海軍施設部長殿

南方向滯貨資材轉用ニ關スル件照會

首題資材中貴府(部)宛轉用分別表ノ通ニ有之候條左記留意ノ上可然
取計相成度

記

一、本資材ハ南方進出會社ノ所有物件ナルニ付右所有會社ト契約締結
ノ上購入方取計ハレ度(南西方面海軍民政府交通土木局關係ノ土
木關係機器ヲ除ク)

海軍

極秘

一、右轉用價格ニ付テハ別紙第一及第二ノ通特例承認セラレアルニ付

海軍部内ヘノ轉用ニ當リテモ充分考慮セラレ度

二、未引取物件ハ緊急引取方手配セラレ度

四、南西方面海軍民政府交通土木局關係ノ土木關係機器ノ處理ニ付テ
ハ二十年六月二日附南政機密第一四〇號ニ依ラレ度

(別表及別紙第一第二添)

(終)

寫送付先

海軍施設本部總務部長
大阪海軍兵團邊分團長
大阪海軍補給部神戶支部長
大阪海軍施設部組和方施設事務所長

海軍

(別表)

一、野村東印度殖産株式会社分

区分	品名	数量	荷造 個数	月日	引渡 方法	引渡 状況	原所在地	記事
1	サクレンボヤス (經時)	一五〇限	二	5/10	第五利丸	大阪施設補給部 又ハ大阪施設部	第四突堤	
1	タイピンボツ各種 (内三台エンジン付)	三台	三				大日南海運輸 濱邊倉庫	
1	充電用發電機	一	一					
1	五〇馬力タイピンボツ	一	一					
1	七五馬力送風機	一	二					
1	七五馬力(戸畑) ガリンエンジン (二馬力U.S.A.) ガリンエンジン	一	一	5/6	トラツク		第四突堤	
1	五馬力ガリンエンジン (池貝)	一	一					
1	測量器具	詰合	一	5/10	第五利丸			
1	柱上變壓器	七台	八				大日濱邊倉庫	
1	チューブミル (四尺×五尺)	一	二〇				第四突堤	

海軍

区分	品名	数量	荷造 個数	月日	引渡 方法	引渡 状況	原所在地	記事
1	スチールボール	一組	四五	5/10	第五利丸	大阪施設補給部 又ハ大阪施設部	第四突堤	
1	ライナー	一	六五					
1	五〇馬力復胴巻揚機	一台	一				近藤倉庫	
1	五〇馬力 三相誘導電動機 フランシス・ボツ (五馬力エンジン付)	一	一	5/10	トラツク		大日濱邊倉庫	
1	ドラム錘(二〇〇立入)	二〇錘	二〇					
2	五〇馬力コンプレッサー 附屬品一式付	一台	六	4/1	高松丸	紀和地方 施設事務	第三突堤	
2	潤滑ポンプ (口徑二吋(三・五吋(各二))	六	七				大日濱邊倉庫	
2	タイピンボツ(口徑 四吋)	二	二					
2	五〇馬力アイゼンエンジン	二	二					
2	鐵線	三〇卷	三〇					
2	万能鋏	三〇	三〇					

海軍

区分	品名	数量	荷造 個数	月日	引渡 方法	引渡 状況	原所在地	記事
4	三〇馬力エンジン	一台	一	5/1	トラック	大阪警備府	第四突堤	
4	三〇馬力排水ポンプ	一	一					
ニ南太平洋貿易株式會社分								
4	三馬力エンジン (ダイハツ)	一台	五	5/10	第五利丸	大阪警備府 又ハ施設部	大日濱邊倉庫	
4	四馬力石油エンジン	四	四					
4	三馬力石油エンジン	一	一					
4	五馬力石油エンジン	一	一					
4	六馬力エンジン (ヤマハ)	一	二	5/2	トラック		第三突堤	
4	タービンポンプ (口徑四寸)	二	二				第四突堤	

海軍

区分	品名	数量	荷造 個数	月日	引渡 方法	引渡 状況	原所在地	記事
8	四馬力エンジン (ヤマハ)	三台	三	4/30	トラック	田邊分團	近藤倉庫	
8	六馬力エンジン (ヤマハ)	一	一	5/5		大阪警備府 又ハ施設部	第一突堤	
8	七馬力エンジン (三變)	一	一	5/10	第五利丸		近藤倉庫	
8	七馬力エンジン (ヤマハ)	六	八	5/10	第五利丸			
8	六馬力エンジン (ヤマハ)	五	五	5/10	第五利丸			
4	三〇馬力エンジン	一	一				大日濱邊倉庫	
4	サンドポンプ	四	四					
4	二〇馬力焼玉エンジン	一	四	5/2	トラック		第三突堤	
4	一〇馬力石油エンジン	一	一				第四突堤	
4	五馬力エンジン (部分品)	一	一	5/6	馬車		大阪	
4	測量器具	詰合	一	5/2	トラック		第四突堤	
4	渦巻ポンプ (一〇馬力エンジン付)	三台	三					

海軍

E-0047

0208

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

三 東洋拓殖株式會社分						
區分	品名	數量	荷造 個數	引渡 月日	引渡 方法	原所在地
4	野 菜 種 子		五	5/1	トラス	大阪府 第四突堤
4	野 雞 卵 器	一 台	二			
4	獸 醫 器 具	一 式	二			
4	ホ ー ス	二 卷	二			一卷ハ未引渡
四 臺灣拓殖株式會社分						
區分	品名	數量	荷造 個數	引渡 月日	引渡 方法	原所在地
8	五キロ發電機	一 台	三		田邊分團 魚崎	引渡済ナルモ引取日不明
8	電 線	九〇米				

(註) 臺灣拓殖分トシテハ製材機、ガソリン機關車等門司ニ在ルモ在門司分ニ付テハ別途
通知ス

海 軍

五 加奈木興業株式會社分						
區分	品名	數量	荷造 個數	引渡 月日	引渡 方法	原所在地
8	ワイヤーロープ	約 二〇〇卷				日倉梅田 日通大阪支社軍用課 長ヲ連絡ノコト
六 民政府交通土木局關係分						
區分	品名	數量	荷造 個數	引渡 月日	引渡 方法	原所在地
8	トロッコ用レール	四三組	四三			
8	トロッコ用車輪	五台分	一〇			
8	軸承函(トロッコ用)	五	五	5/5		大阪警備府 又ハ施設部
8	コンクリートミサー	一 台				
8	渦卷ポンプ	一	一			
8	複胴ウインチ	一	一			
至急引取ヲ要ス 引渡済ナルモ月日 方法不明						

海 軍

備考

一 區分ノ中

- (1) ハ二十年二月本省ニ於テ備置資材ノ部内轉用ニ付關係各部局ト打合ノ結果施設本部へ轉用決定シ、施設補給部大阪出張所(其ノ後大阪施設部ニ變更セル趣ナリ)引取實施ノコトナレルモ
- (2) ハ二十年三月當部石堂囑託阪神出張ノ節、大阪海兵團田邊分團ト打合ノ結果、紀和地方事務所ヲ通ジ同分團ニ轉用決定セルモノ
- (3) ハ二十年三月當部上野中佐及石堂囑託阪神出張ノ節、警備府機關參謀ト協議ノ結果警備府(施設部ヲ含ム)ニ轉用決定セルモノ
- (4) ハ二十年四月當部紅波主計大尉及石堂囑託阪神出張ノ節警備府機關參謀ト打合ノ結果警備府(施設部ヲ含ム)ニ轉用決定セルモノ

海軍

内

- (5) ハ六月二日附南政機密第一四〇號ニ依ルモノ
- 各會社連絡先

- (1) 野村東印度殖産株式會社(係員 東京一佐々木、大阪一江畑)
東京本社 日本橋區通一ノ一野村ビル(電話日本橋四二七一六)
大阪事務所
- (2) 南太平洋貿易株式會社
東京本社 麴町區丸ノ内二ノ二丸ビル四階四三二、四三三號室
(電話丸ノ内一七五六)
- (3) 東洋拓殖株式會社
東京本社 麴町區内幸町一ノ二東拓ビル(電話銀座五五六一一七)
- (4) 臺灣拓殖株式會社(係員 東京一酒井、神戸一竹野)
東京本社 麴町區内幸町二ノ九(電話銀座五九八五一九)
- (5) 加奈木興業株式會社(係員 一宮本)
東京本社 日本橋區通二丁目一友日本橋ビル四階(電話日本橋一八五五)

海軍



郵務政方南	副長
10	

陸軍機密第一一號ノ七七七三
昭和二十年六月七日

本品トシテ発電工事用トシテ日終迄ニ依リ
取得セルモノ付差支ナシ

海軍省南方政務部長殿

海軍艦政本部總務部長

遊電線轉用ノ件照會

貴部ニ於テ南方施設用トシテ準備セラレタル「イ」號アルミ合金線（
一〇〇平方尺）ノ内四〇、〇〇〇米ヲ横濱實工廠特攻兵器生産設備用
遊電線トシテ使用致度ニ付同廠ニ轉用ニ關シ日本發送電株式會社ニ至
該會社方取計相續度

高給付先

海軍省軍務局次長
横濱實工廠總務部長
造兵部長
電池實験部長

（終）

海軍

陸軍機密第一一號ノ七七七三

昭和二十年六月十一日

海軍施設本部總務部第二課長

海軍省南方政務部長殿

轉用轉用ニ關スル件照會

南政第一三八號照會首題ノ件左記ノ通轉用方可能取計相成度

配

一轉用品數量 鐵 材 八屯

一轉用先 大塚海軍施設部

一轉用 約 岩井産業ト販出ト直接契約

一轉入 大塚海軍施設部ニテ引取ルモノトス

（高給付先 大塚海軍施設部會計課長）

（終）

海軍

英道中要十三行昇紙（鉛本納）

904

官

阪神支機第百八

昭和四年六月廿三日

大阪海軍運輸部神支部長

岩井産業株式会社社長殿

拝帆船第一共和丸積荷リ物質ニ関スル件一通知

首題船船名四月四日南方二向ヶ神戸出港セル天都合ニヨリ大阪帰
投載中ノ大記知件ヲ揚陸保致置候候大阪海軍運輸部ノ連絡ノ
上至急引取方手配成夜

記 本品ハ凡ハ大阪港設部 取リ自 社務用ノモノニ決定済

船名	積載船名	品名	相数	容積	重量	摘要
共和丸	神材	一五五	二六〇	二六六		

(終)

官送付先 海軍省南方政務部長 大阪海軍運輸部長 上組合資会社社長

海軍

官

海軍省南方政務部長殿

阪神支機第百八

昭和四年六月三日

上月手書送付

大阪海軍運輸部神支部長

米屋産業株式会社社長殿

機帆船第一共和丸積荷リ物質ニ関スル件一通知

首題船船名四月四日南方二向ヶ神戸出港セル天都合ニヨリ大
阪帰投載中ノ大記知件ヲ揚陸保致置候候大阪海軍運
輸部ノ連絡ノ上至急引取方手配相成夜

船名	積載船名	品名	相数	容積	重量	摘要
共和丸	神材	一五五	二六〇	二六六		

本社務用ノモノニ決定済

官送付先 海軍省南方政務部長 上組合資会社社長

大阪海軍運輸部長

海軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

南支那第三四號

昭和二十年六月二十七日

海軍省南方政務部副長

大阪海軍施設部會計課長殿

關於機用中空八角鋼轉用ニ關スル件照會

南洋拓殖株式會社ニ於テ南方方向トシテ取得セル首題品ハ其ノ後輸送困難
トナリタル爲内地ニ於テ轉活用ノ要アル處貴部ニテ要望アレバ左記ニ依
リ轉用差支ナキニ付至急貴意ヲ得度

追而南洋拓殖係員貴部ニ出頭致スニ付詳細聴取セラレ度

記

一 品名、數量 關於機用中空八角鋼（二三耗、長二米）四百本
ニ 所 有 者 南洋拓殖株式會社

（花崎）内

海軍

關於轉用價格

購入價格ニ運費、荷造、保險料等適正附掛ヲ加算シタル
額ニ依ル

（終）

寫送付先

軍務局第三課長
施設本部總務部第二課長

（花崎）

海軍

南政機密第一五八號

昭和二十年六月三十日

海軍省南万政務部長

大阪海軍運輸部神戸支部長 殿

第一共和丸積戻り物資ニ關スル件照會

阪輪神支機密第四號ノ八ニ依ル首題ノ件ニ關シテハ茲ニ五月十日附南政機密第一三〇號（別紙）ノ通達絡濟ニ付了知相成度

追而自配ノ部分品ハ航本ニ轉用決定（十一空廠大阪補給工場引取）岩井産業線材中八觔ハ大阪施設部ニ轉用決定（一應全量岩井引取）他ハ自社轉用ノコトトシアルニ付爲念

（別紙添）

（終）

南政機密第一五九號

昭和二十年六月三十日

海軍省南万政務部部長

大阪海軍施設部會社附屬長 殿

線材轉用ニ關スル件通知

施本第三〇二號ノ一、五、一〇ニ依ル首題品ハ南万向トシテ既ニ機組船第一共船九ニ積込シアリタルモノ今般同船大阪歸船ノ上陸品揚荷致候條大阪海軍運輸部及附屬者岩井産業線材會社ト連絡ノ上亟急引取万手阻相成度

（海送付先 施設本部機務部第二課長）

（終）



昭和七年七月十六日 東京都芝区田村町三丁目
關東配電株式會社

海軍省南方政務部 市申

部員

南ホルネ才電氣事業用資材
戰災燒失ニ関スル件 報告

弊社委託經營ニ係ル南ホルネ才電氣事業用
資材トシテ豫而確保方下命 相受居テ夫別記
資材ハ昭和七年五月二十五日敵機ノ帝都空襲ニ
際シ四機火燒失致テ付不取敢此段及申
報告スルヤ

20.7.17
(護)

日本標準規格B5

紙-10 18年5月(東京2519) 納

四機火燒失資材内譯書

品名	数量	摘要
特高ビン碑子	一ニ一付	
高圧ビン	三七九	
高圧茶台	一〇〇	
低圧自ビン	三〇〇	
水ビン	一〇〇	
自引留	一〇〇	
水引留	三〇	
大自曲捻込	三〇	
水	一〇〇	
七五Aフューズ	二五〇	
五〇A	二五〇	
一〇A	二〇〇	

關東配電株式會社

日本標準規格B5

紙-10 18年5月(東京2519) 納

E-0047

0216

滞
仁
員
資
材
転
用
表

8

8

E-0047

0219